

厳しい経営環境下に向けた 税制・中小企業政策の実現を!!

「令和5年度税制改正及び中小企業政策に関する要望」を提出

当所は、6月27日に日本商工会議所に対し「令和5年度税制改正及び中小企業政策に関する要望」を提出しました。要望内容は企業経営委員会において3回の議論を経て、地方の中小企業が担っている役割の重要性を訴える視点で取りまとめたものです。日本商工会議所では、各地からの意見を集約した上で、政府をはじめ関係機関に提言・要望することとしています。当所の要望概要は以下の通りです。



※詳細につきましては、当所ホームページに要望書を掲載しております。ご参照ください。 [当所HPはこちら](#)

I. 税制改正に関する事項

1. 税制全般について

新型コロナウイルス感染症長期化の影響や急激な円安など、厳しい経営環境下にある地域の中小企業・小規模事業者の事業継続、雇用の維持を図るための税制措置の継続・拡充はもとより、新たな挑戦を後押しする税制措置の構築が求められる。

2. 消費税の対応について

- ・軽減税率制度の見直し
- ・インボイス制度の導入延期・凍結 など

3. 事業継続と政策減税の見直しについて

- ・株式評価方法の見直し
- ・事業承継税制の周知及び見直し など

4. 経済再生・経済社会の構造変化に向けた税制について

- ・地方創生に資する税制について
- ・新事業展開・創業促進につながる税制措置の拡充 など

5. 事務手続きの簡素化

- ・行政手続きの簡素化について など

II. 中小企業政策に関する事項

1. 中小企業政策全般について

中小企業・小規模事業者の円滑な事業承継や生産性向上など経済・社会構造の変化に合わせた自己変革への取組を後押しするとともに、既成概念にとらわれない支援策を強化すべきである。

2. 中小企業の経営基盤の維持・強化に向けて

- ・人材確保・人材育成への支援
- ・社会保障制度の見直し など

3. 中小企業のイノベーションの推進と地方創生に向けて

- ・中小企業のDX(デジタルトランスフォーメーション)推進
- ・カーボンニュートラルに向けた支援強化 など

4. 小規模事業者支援について

- ・経営発達支援事業の実施に係る経営指導員の人件費補助の増額 など

5. 補助金制度の拡充等について

- ・補助金申請の適正化
- ・中小企業の変革に向けた支援 など

令和4年度 税制改正要望で実現した主な項目

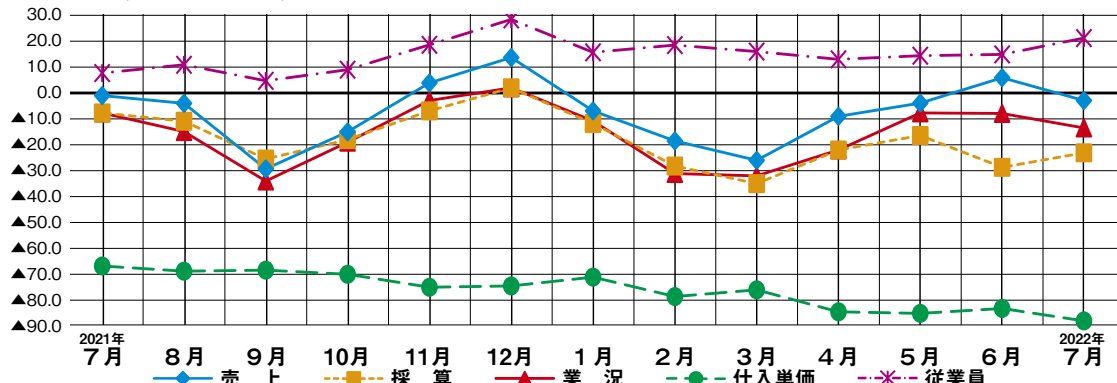
- 交際費課税の損金算入特例の延長(2年間)
- 少額減価償却資産における即時償却制度の延長(2年間)
- 法人版事業承継税制の特例承継計画に係る提出期限の延長(1年間)
- 地方拠点強化税制の延長・拡充(2年間)

原材料費高騰による影響深刻
 新型コロナウイルス第7波や消費者の買い控えも懸念材料

【7月の概要】

業況判断を示すDI値は、「採算」で5.6ポイント改善したものの、他のDIは悪化傾向。先行き見通しについては、「売上」と「業況」は2ケタ台の悪化で、再びマイナス水準に転じた。「従業員」DIは、業況判断、先行きともに+20ポイント台で人手不足感が強い。寄せられたコメントでは、価格高騰や資材不足がさらに深刻になってきており、価格転嫁をせざるを得ない苦しい状態が窺える。また、値上げによる消費者の買い控えを懸念する声もあった。価格上昇や原材料不足の影響や、新型コロナ第7波にも警戒しながら売上増加を図っていかねばならない難しい経営環境が続くものと思われる。

景気動向(前年同月比)全産業DI値 (2021年7月~2022年7月)



	全産業平均DI値					向こう3か月間の先行き見通しDI値				
	売上(受注・出荷)	採算	業況	仕入単価	従業員	売上(受注・出荷)	採算	業況	仕入単価	従業員
5月	▲3.9	▲16.4	▲7.7	▲85.1	14.4	2.9	▲16.4	▲12.5	▲67.3	16.4
6月	5.9	▲28.7	▲7.9	▲83.2	14.9	8.9	▲12.9	5.9	▲64.4	23.8
7月	▲2.9	▲23.1	▲13.5	▲88.0	21.2	▲1.9	▲20.2	▲12.5	▲63.5	23.1

☀️ 晴れ (30 ≤ DI) ☁️ 曇りのち晴れ (15 ≤ DI < 30) ☁️ 曇り (0 ≤ DI < 15) ☁️➔☀️ 曇りのち雨 (▲20 ≤ DI < 0) 🌧️ 雨 (DI < ▲20)

建設業	入荷遅れが深刻。中古部品を再生して当面の対応を考えているが、長期になれば会社運営に大きな支障をきたす。(設備) 部品の生産・流通が滞り、機器の欠品・品薄や価格上昇等、大きな影響が出ている。(管工事業)
製造業	原材料高騰分を販売価格に転嫁できない状況。(乳製品) 原材料高騰分の「価格転嫁」は、相手のあることなので思うようにはいかない。来年までには値上げしたい。(製菓)
卸売業	コロナ禍後の消費者ニーズが変化していくのではないかと心配している。(贈答記念品) 観測史上最長の梅雨で青果物の生育が心配される。また、食料品の値上げによる買い控えが懸念される。(青果)
小売業	第7波が来ても自粛はこれ以上無理。円安により日本国内へ生産拠点が戻ってくる方に期待したい。(印刷等)
サービス業	7月より一部商品を値上げしたが顧客の動向が心配。また、人手を確保できない状況が続いている。(レストラン) 猛暑の時期が早まったことで乗客の利用頻度が上がってきたが、燃料等の価格高騰に苦慮している。(タクシー) 土地の売買や賃貸の動きも好調。しかし、それに比例して店舗の廃業、閉鎖の動きも出ている。(不動産情報)

システム建築により自由設計、
ローコスト・短工期を実現！

工場・倉庫・HACCP対応食品工場の建築
おまかせください！！

COSMO コスモ建設株式会社
〒950-0983

新潟県新潟市中央区神道寺2-2-25
TEL025-245-7111 FAX025-245-7119
メールアドレス：info@cosmo-k-co.com

コスモ建設(株) で検索



※日鉄物産システム
建築(株)の施工会員
です。

プラン
概算見積
無料